

石も視野

テクトロニクス社は、二つの大きなエポックがあるという。技術エポックとマネジメントエポック。まず技術エポックから。リアルタイム・スペクトラ

89年にベースバンドのみの計測に限定した初のRTSAを開発、注目を集めた。コンセプトの斬新さから「どのような用途で使用可能か」という問いかけに、RTSAの測定が可能で、RFの測定がナハークグループになったこと、

る舞いがより複雑になり、トラム・アナライザへの進化に大きく貢献したと自負している。

次にマネジメントエポックとして、07年11月、ダハークグループになったこと、

バッテリー駆動のモバイル機器や小型OA機器はもちろんだら、各種家電製品



オノデン

(札幌市中央区)

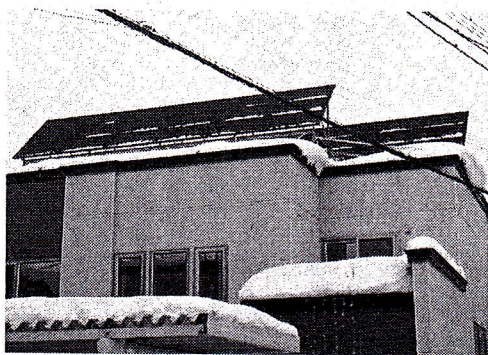
小野寺 省吾社長

オノデン(札幌市中央区、小野寺省吾社長)が、太陽光発電システムに取り組み姿勢は明解だ。「あくまでも、エコキュート、エネチャージシステムのエアコン、I日クッキングヒーターを提案商品のメインに捉え、その延長線上に太陽光発電システムがある」というもの。その根底には、「太陽光発電システムも家電の一部」と捉えていることにある。

前、電気温水器、I日クッキングヒーター、食器洗い乾燥機などを中心に、電力会社の深夜電力割引制度を説明し、販売に力を注いでいた。その時に、太陽光発電システムに出会った。「補助金制度も今より上積りにもなった。一方で、それらの業者が利益に走り、施工不良を生む現場を幾度となく見て、一線を画した。



札幌市を中心に道央圏が商圏のオノデン



独自開発したAトラス架台の施工例

太陽光発電

累積施工700棟

北海道仕様の架台独自開発

T&A/エコ協化協力店認定 信頼と技術で勝負

みがあ、いろいろ計算してみると、随分と得なこと「分かった」と取り組みを始めた。

自家営業や施工のノウハウを勉強、「随分と太陽光にのめり込んだ」というように、自ら習得したノウハウを、要望があつたリフォーム関連業者にも提供し、累積施工戸数は700棟余

いなど、北海道の無落雪住宅の屋根に最適な「Aトラス架台」を独自開発。既に7年ほどの実績を持つが、昨年、知人の勧めで実用新案権を受けた。「別に独立しようとは思っていない。北海道の気候に適した架台が安い料金を広まれば」と話し、ガイドラインや瑕疵補償制度の認定なども視野

現在、札幌市を中心に道央圏の都市を商圏に、年間20棟ほど。「気温が下がれば作業も煩雑になる」と、施工期間は4月から11月に限定。「家と同じように20年、30年持つのが基本。将来的に建物全体をテラントで被うなどして、養生しながらの施工もやってみてみる。全て家電からの延

顧客の紹介で受注の紹介が多く、「訪販業者の勧誘が多くて困っている人が多い。あせらず、じっくり考えてからでも遅くない」と、時流に流されることを論ずる。

長年、オール電化や、太陽光発電システムに携わってきた経験から、「着実にやっていくことが一番大切」と話す。

昨年、パナソニックの道内3店目の「テレビ&オール電化ハウス」、さらには、ほくでんサービスの「エコ電化協力店」にも認定され、施工部隊6人を持つオノデンは、信頼と施工技術で勝負する。(札幌)



小野寺 社長

未までには1300セットの

同店は、静 飲食店などが並ぶ主要幹線O11、年配者にはK00の原点に立ち戻り、お客さま